

命をつなぐ
小児がん
治療の
現場から

「」のメッセージを読んでいるあなたは、今、どんな状況にあるのでしょうか。小児がんの診断直後かもしれません。あるいは、治療の真ったた中であったり、治療が終了し、再発の有無をチェックするために通院していたりするかもしれません。あるいは、長期のフォローアップへの移行後でしょう。

頑張り過ぎていませんか？不安や心配が増えていますか？落ち込んでいませんか？不安をおおるテレビやインターネットの情報に疲れていませんか？

何もわからないまま、体はどうどんしんどくなり、突然、大好きな学校に行けなくなり、友だちや学校の先生、親やきょうだいと離れ、検査や治療が進んでいく中、どう受け止めてよいかわからない時期がありましたね。抗がん剤の副作用が押し寄せ、いつ終わるのか、本当に治るのかと不安な時期が続きましたね。

治療は終わったけれど、日常生活に制限があり、髪の毛が生えそろうのに時間がかかり、手術の傷跡も残り、友人関係や学習の遅れが気になりましたね。

でもあなたは本当によく頑張っています。自分がしんどい時でさ

第15回
小児がん向き合おうあなたへ

あなたを支える人がいる
闘病期間は「勝利のとき」

え、家族や同じ院内学級に通う病気の友人を気遣い、そしてねぎらい過ごしてきました。立派そうに見える大人たちでもなかなかできない、「ケセラセラ、Que Sera, a. Sera(Whatever Will Be, Will Be)」とやり過ぎずことをやってのけてきたのですよ。人生の根っことなる大きな力をつけたのですから、自信をもって意気揚々と学校や社会に戻って進んでください。

病気との闘いは孤独なものかもしれませんが、あなたは決してひとりではありません。医療スタッフや支援団体、そして家族や友人たちに助けを求めることを忘れないでください。私たちはあなたとともに歩む準備があります。あなたを支え、励まし、理解してくれるでしょう。どんな小さな進歩も、私たちは喜びと共に祝福し、あなたの健康と幸福を願っています。忘れないでください。あなたの小児がんとの闘病の期間は、「勝利のとき」であるのを。

(おわり)

